

ふあみりあ

ご縁で繋がったお客様との関係を育む情報誌



有限会社 須崎自動車商会
SUZAKI AUTO SERVICE

〒383-0053
長野県中野市大字草間1708
☎0269-22-4790
営業時間 9:00~18:00
(土曜日17:00まで)

<https://mytown-carshop.jp/scd26522036/>



ホームページ

--社長のコラムから--



※ ダイハツブースより参考出品



※ ダイハツブースより参考出品

e-SMART HYBRID搭載車 (イースマートハイブリッド)

モーターならではの出足の良さ
や静かな走り、優れた燃費
非常に役立つ外部給電機能
その魅力を軽自動車サイズで
実現しました。

※ 公式ホームページより引用



e-SMART HYBRID 【主な特徴】

- ① 100%モーター走行による
静かで力強い走り
- ② 従来のエンジン&CVTと比較して
約20%以上向上した燃費性能
- ③ 災害時にも安心な
外部給電機能を採用

※ モビリティショー説明文より引用

社長のコラム

はじめに



(社長 須崎 茂)

気がつけば今年も残り2ヶ月を切り、冬の足音がすぐそこまで聞こえてくる時期となりました。タイヤ交換のご依頼が入りはじめ季節の移り変わりの早さに驚いている社長の須崎茂です。

さて私はといいますと、来年以降どんな車が登場てくるのか知りたくて、勉強も兼ねて「ジャパンモビリティーショー」へ行ってきました。各メーカーの最新技術

や開発車両が展示されており、見ごたえたっぷりのイベントです。

中でも印象に残ったのは、ダイハツが参考出品していた『軽自動車で初めてのストロングハイブリッド』です。エンジンで発電し、その電気でモーター走行する仕組みで、燃費の良さや静かな走りを実現しています。軽自動車の本格ハイブリッド車が、そう遠くない未来にお客さまへご紹介できる日がくるのではと、今から楽しみで仕方ありません♪

【社長 須崎 茂】

お役立ちコラム

ブレーキ鳴きの原因と対策

『キィーッ!?』その音、もしかしてブレーキ鳴き?

車から「キーキー」と高い音が聞こえた経験はありませんか? あの音かなり耳障りで「これって大丈夫?」と心配になりますよね。この音の正体…実は「ブレーキ鳴き」と呼ばれる現象なんです。ブレーキ鳴きには、材料の性質によって発生する“異常の無いもの”もあれば、点検や部品交換が必要なケースもあります。

そこで今回は、そんな『ブレーキ鳴きの原因と対策について』分かりやすくご紹介します。

走りはじめの最初だけブレーキ鳴きが起こる

走りはじめだけブレーキ鳴きがするのはいわゆる「冷えている」状態です。これは異常ではありません!

冬場や、朝イチに発生することが多いです。冷えている時はブレーキ鳴きの原因となるブレーキ作動時に起きるブレーキパッドとロータの接触により発生する微振動が、より発生

しやすく伝わりやすいのです。この微振動はブレーキの使用により熱を持って柔らかくなることで、ある程度吸収して音の発生を抑えることができます。よって、ブレーキが温まりきっていない走りはじめの最初だけブレーキ鳴きが発生します。



雨の日にブレーキ鳴きが起こる

雨の日のブレーキ鳴きは水分の付着による錆の浮きや、低温によってブレーキ鳴きの原因となる微振動の吸収を効率的にできないことが、ブレーキ鳴きの原因となります。

これも異常な状態ではありません。

しばらく走行して錆が落ちればブレーキ鳴きは収まります。

金属音がする

Check!

一部のブレーキパッドには、残量が少なくなり交換の必要があることをドライバーに知らせるために、「ウェインジケーター」と呼ばれる金属の突起となるものが取り付けられています。パッド残量が低下し、ものによって前後しますが3mm以下になると、ウェインジケーターがブレーキローターに接触する

ようになります。これが、ブレーキ鳴きの金属音の原因です。

はじめのうちは、ブレーキ時にのみに発生しますがそのまま放置して、パッド残量がさらに少なくなると、ブレーキを踏んでいなくても金属音がするようになります。

早めの点検とブレーキパッドの交換が必要です。

私の
アドバイス



ブレーキから「キィーッ」と音がして驚く方も多いと思いますが、実はその多くが心配のいらない音です。湿気の多い朝や冷えた時など、どんな車でも鳴くことがあります。それでも気になるときは、いつでも気軽にご相談ください。



整備士のたまご

スタットレスタイヤ

寿命の見極め、ご存知でしょうか？

3級整備士が考える“ちょっとした役立つ情報”を皆さんへ発信するコーナーです♡

見極め
その1

プラットホームをチェック

プラットホームとは、スタットレスタイヤのみに存在する溝の中にある小さな突起のことです。タイヤは使ううちに少しずつすり減り、雪道では滑りやすくなってしまいます。その減り具合が目で見て分かるように、溝の突起(プラットホーム)とタイヤの表面が同じ高さになったら「寿命のサイン」です。この状態では雪道での性能が落ちているため、ただちに交換をオススメします。



プラットホームが
タイヤの表面と
同じ高さになった場合

見極め
その2

タイヤ専用の高度計で確かめる

スタットレスタイヤは、溝の深さだけでなく『ゴムのやわらかさ』もとても大切です。時間がたつとゴムが硬くなり、雪道でのグリップ力（すべりにくさ）が落ちてしまいます。そのゴムの硬さを調べるのに使うのが「硬度計」です。専用の計器でタイヤの硬さを測ることで、見た目だけでは分からぬ『タイヤの寿命』を判断できます。

硬度計の針が赤いゾーンを示した場合は溝が残っていても寿命のサインです！

気になる方は、サービスで点検いたしますので気軽に問い合わせください。



針が緑のゾーン
を示した場合



針が赤いゾーン
を示した場合



須崎自動車の ちょこっとニュース

須崎自動車が、お店をかまえる中野市立ヶ花地区では、10月上旬に秋祭りが開催されました。弊社のショールームが完成してからは水害やコロナの影響もあり、しばらくの間「悪魔払いの獅子舞」をお店で舞っていただくことができませんでしたが、今年は実に7年ぶりに訪れていただきました。商売繁盛を願う力強い舞が披露され、朝早くからご近所

の方々も見学に来られ、「こんなに近くで見たのは初めて」と喜ぶ姿が印象的でした。太鼓や笛の音が響き渡る中、地域の一体感を感じられ、改めて人とのつながりの大切さを実感しました。地域の皆さまとのご縁に感謝し、こうした伝統と交流が、これからも次の世代へとつながっていくことをあたたかく見守り、願っていきたいと思います。



車最後に・・・

編集後記

実は大の人見知りで、接客業がちょっとずつ苦手な編集長の須崎純子です。初対面の方と話すときは今でも内心ドキドキ…(笑)。それでも、この仕事を通じて、人と人との繋がりって本当に不思議で温かいなあと感じるようになりました。気づけば、人見知りの私が「ご縁っていいな」と思いながら、ネットワークが広がっていくことに喜びを感じるよう

になりました。これもひとえに、いつもご利用いただくお客様のおかげです。そして皆さんに支えられながら無事に1年間情報誌をお届けできることに感謝の気持ちいっぱいです。来年も、皆さまの暮らしにちょっと役立つ情報や、読んでホッとする話題をお届けていきたいと思います。

今年も1年、たくさんのご愛読ありがとうございました。また来年お会いしましょう！

【編集長 須崎純子】